

## R3年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
移乗介護(装着型)	マッスルスーツEvery	(株)イノフィス

## 導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
50人	老人福祉施設

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>ベッドと車いす等との間の移乗介助 特浴にて、ストレッチャーと洗身台の間の移乗介助</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>マッスルスーツを着用することで、介助時の身体的負担が3割程度軽減できる。 身体的な負担軽減により腰痛予防や軽減となり、4割程度の職員は効果を実感できると考 える。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>介助時の身体的負担が軽減できる。 職員が着用したまま歩行するのが難しく、その都度ひざフレームを外すなどの対応が必 要。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>利用方法や効果に関して情報共有する。 その情報を基に、より効果的、効率的に使用できるようにする。</p>

## R3年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
移乗介護(装着型)	J-PAS fleairy	(株)ジェイテクト

## 導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
20人	通所介護

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>職員の腰部に対する負担を軽減できたことによって利用者に対し無理な姿勢での介護を行わないことで利用者の転倒、転落のリスクを回避している。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果</p> <p>※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○職場環境の改善 介護職員の腰部に対する負担を軽減できたことによって腰痛で休む職員が減少し職場環境が改善した。</p> <p>○職員の離職率が低下 職場の環境が改善されたことによって職員の離職率が低減した。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見</p> <p>※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>ベッド上でのオムツの交換時などに腰部に対する負担が減少した。 常時、介護ロボットを装着していないため使用時に脱着に多少時間を要する。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画</p> <p>※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>再度職員に介護ロボットの使用方法を徹底することで業務の効率化を図り、職員の介護負担の軽減に繋げたい。</p>

## R3年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
移乗介護(非装着型)	Hug T1-02	(株)FUJI

## 導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
18人	認知症対応型共同生活介護

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>二人介助で行っていたが一人介助にてトイレ誘導ができています。また入浴、リビングへの移乗移動の際も速やかに一人介助で行っている。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果</p> <p>※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>二人介助から一人介助となると見守りが切れることがなく、安全である。また一人分の移動介助の時間が削減できる。一度につき5分～10分程度、介助者の負担軽減がはかれ、腰痛も軽減されており、満足度は高いです。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見</p> <p>※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>二人介助となると二人揃って行えるように環境をつくるが大変だった。見守りも途切れるため不安もあったが安全な環境を守れて安心してケアに集中できる。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画</p> <p>※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>スタッフの人員体制は確保しているが、ロボットを使用することでお客様のケアサービスの質を向上できると考える。削減できた負担、時間でより個別ケア、自立ケアに向けた取り組みを行いたい。</p>

## R3年度介護ロボット等導入事例

### 導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
排泄支援	ベッドサイド水洗トイレ	TOTO(株)

### 導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
40人	訪問介護

### 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>利用者のベッドサイドに水洗トイレを設置している。訪問介護利用者がトイレを行う時、1日の内複数回使用している。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果</p> <p>※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>設置を行った部屋には、トイレの設備が無かったため、トイレを使用したい場合は、同じ階にある共同トイレに利用者自ら行くか、介護サービスを利用して介護職員が共同トイレに利用者連れて行きトイレ介助を行う。もしくは居室にポータブルトイレを設置して介護職員が居室にてトイレ介助を行い汚物処理を行う必要があった。設置後は利用者が排泄を自ら行う事が可能となったため、従業者の介護負担が減った。利用者を共同トイレに付き添い介助を行う時間が減った。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見</p> <p>※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○ポータブルトイレの汚物処理をする必要性が無くなり、処理に関する介護業務の負担が大幅に減った。</p> <p>○利用者を共同トイレへ付き添い介助を行う必要性が無くなった為、その時間を他の介護業務に振り替えることが可能になった</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画</p> <p>※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>将来的に利用者の介護度が上がった場合にベッドサイド水洗トイレの使用に向かない身体状態に向かうことも予想される。ベッドサイド水洗トイレを実際に使用することにより、そのような身体状態に向かうことを防ぐ、もしくは遅らせることを期待するとともに、ベッドサイド水洗トイレを使用を想定した機能訓練を行い、この機器を使用できる身体状況を保つよう努力する。</p>

## R3年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	バイオネクスト	(株)バイオシルバー

## 導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
50人	介護老人福祉施設

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>徘徊などによって転倒するリスクがある利用者の方の居室に機器を設置。利用者の睡眠状態やベッド上での状態変化をモニターや端末で把握することによって、状況に応じた対応を行っている。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果</p> <p>※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>見守り機能によるスタッフの業務負担の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜勤時の見廻りの効率化を図ることができた。(見廻りのための訪室回数30%削減)</li> <li>・転倒リスクの回避、トイレ誘導・排泄介助のタイミングを見極めることにより、心理的負担の軽減や事後の追加業務の発生を未然に防ぐことができた。</li> </ul> <p>夜間時の訪室が必要時に限定されたことによって、利用者の精神的負担が軽減された。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見</p> <p>※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>見廻りの効率化が図られることにより、従来、見廻りしていた時間帯を別業務に振り替えることができ、業務全体の効率が良くなった。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画</p> <p>※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>介護ロボットを必要とする利用者が増えているため、介護ロボットをより活用し転倒防止を図る。</p>

## R3年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	ベッドコールN	(株)テクノスジャパン

## 導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
50人	介護老人福祉施設

## 使用状況及び導入効果等

①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）
徘徊などによって転倒するリスクがある利用者の方の居室に機器を設置。利用者の睡眠状態やベッド上での状態変化をモニターや端末で把握することによって、状況に応じた対応を行っている。
②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等
見守り機能によるスタッフの業務負担の軽減 ・夜勤時の見廻りの効率化を図ることができた。(見廻りのための訪室回数30%削減) ・転倒リスクの回避、トイレ誘導・排泄介助のタイミングを見極めることにより、心理的負担の軽減や事後の追加業務の発生を未然に防ぐことができた。 夜間時の訪室が必要時に限定されたことによって、利用者の精神的負担が軽減された。
③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等
見廻りの効率化が図られることにより、従来、見廻りしていた時間帯を別業務に振り替えることができ、業務全体の効率が良くなった。
④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画
介護ロボットを必要とする利用者が増えているため、介護ロボットをより活用し転倒防止を図る。

## R3年度介護ロボット等導入事例

### 導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	眠りSCAN	パラマウントベッド(株)

### 導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
135人	介護老人福祉施設

### 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>○徘徊などによって転倒するリスクがある利用者の方の居室に機器を設置し、睡眠状態やベッド上での状態変化をモニターや携帯端末で把握することによって、状況に応じた対応を行っている。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○見守り機能によるスタッフの業務負担の軽減 ・夜勤時の見廻りの効率化を図ることができている。 ・転倒リスクの回避、トイレ誘導・排せつ介助のタイミングを見極めることにより、心理的負担の軽減や事後の追加業務の発生を未然に防ぐことができている。 ○夜間時の訪室が必要時に限定されたことによって、利用者の精神的負担が軽減された。 ○事故が発生したとき、カメラの活用で客観的に原因究明ができるようになり、家族への説明や対策ができやすくなった。また、事故による被害の程度がわかり、その後の対応にも活かしている。</p>
<p>③介護ロボット導入についての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○見廻りの効率化が図られることにより、従来、見廻りしていた時間帯を別業務に振り替えることができ、業務全体の効率が良くなった。 ○急なセンサーやコールが減少したので、業務がスムーズに行えるようになった。 ○状況によってはアラームが頻繁に鳴るため、訪室回数が導入前よりも増えているケースもある。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>○今より見守り機器を使いこなせるようになることで、もっと効果的に使用できるようにしていく。 ○適切で効果的な使用が出来るようになり、利用者の安全で快適な生活と職員の負担軽減や生産性向上を両立していく。</p>

## R3年度介護ロボット等導入事例

### 導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	電動ベッドエスパシアシリーズ	パラマウントベッド(株)

### 導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
56人	老人保健施設

### 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>認知症による理解力低下・ADL低下による転倒、転落リスクのある利用者様にセンサーベッドを使用し状況に応じ設置、対応している。使用頻度は毎日使用時間は利用者様に応じて変更し対応している。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果</p> <p>※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>必要なタイミングで支援が行えるようになった。利用者様の状態に応じて設定できるため訪室回数が減り職員の80%が負担軽減できていると感じている。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見</p> <p>※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>既存の体動式センサー・センサーマットはベッドで端座位になっているだけで感知するため何度も訪室し確認が必要だったがセンサー付きベッドを導入出来たことにより状態に応じて設定ができるため訪室回数が減り肉体的・精神的負担軽減できている。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画</p> <p>※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>利用者様の安全対策の充実と職員の負担軽減を図る。今後も利用センサー付きベッドの導入を進めていきたい。</p>

## R3年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	ワイヤレスパッシブセンサー	竹中エンジニアリング(株)

## 導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
27人	認知症対応型共同生活介護

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>自己にての立ち上がり・徘徊などによって転倒するリスクがある利用者の方の居室に機器を設置。日中（利用者が居室に居るとき）・夜間を通して毎日使用している。受信機に通知されすぐに駆けつけることによって、状況に応じた対応を行っている。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果</p> <p>※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等</p> <p>○見守り機器によるスタッフの業務負担の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転倒リスクの回避、トイレ誘導、排泄介助のタイミングを見極めることにより、心身的負担の軽減や事後の追加業務の発生を未然に防ぐことができた。</li> <li>○意思疎通が困難な利用者に対し、センサー反応にて職員が駆けつけるので、利用者の精神的負担が軽減された。</li> </ul>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見</p> <p>※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見廻りの効率化が図られることにより、従来見廻り以外に訪室していた時間帯を別業務に振り替えることができ、業務全体の効率が良くなった。</li> <li>・見廻り以外にもコールにて通知があるため、すぐに駆けつけることができ転倒事故等の不安が軽減している。</li> <li>・センサーの誤検知等によりコール音が重なって鳴ることがあるため、訪室回数が導入前よりも増えることがある。</li> </ul>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画</p> <p>※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>センサーの誤検知等があることから、センサーの設置場所を見直すことにより、誤検知による訪室回数の軽減につなげる。</p>

## R3年度介護ロボット等導入事例

## 導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	ネオスケア	ノーリツプレジジョン(株)

## 導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
100人	介護老人保健施設

## 使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>センサーマットや赤外線センサーを利用している転倒リスクの高い入居者の居室に機器を設置。携帯端末への通知にて状態の変化を画像で確認することにより、状況に応じた対応を行っている。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果</p> <p>※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>訪室回数の削減にはつながっていないが、起き上がり動作の時点で通知があるため対応が間に合い、転倒リスクが50%軽減され、事後の追加業務の発生を未然に防ぐことができた。</p> <p>それに伴い、介護従事者の心理的負担と利用者の身体的負担も軽減された。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見</p> <p>※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>リアルタイムで画像にて状態確認が行えるので、訪室前に準備ができるようになり心身の負担軽減につながっている。携帯端末の扱いに慣れていない。通知の解除操作が手間。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画</p> <p>※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>職員間での活用方法のバラつきをなくし、効果的な使用方法を周知する。</p>